

Agribusiness Creation Fair

# アグリビジネス創出フェア

# 2013



Create Agribusiness!

会期：2013年10月23日(水)～10月25日(金)10:00～17:00

会場：東京ビッグサイト東6ホール

主催：農林水産省

URL：<http://agribiz-fair.jp/>

## 出展のご案内

**開催趣旨** アグリビジネス創出フェア2013は全国の産学の各機関の有する農林水産・食品分野などの最新技術や研究成果を展示やプレゼンテーションなどで分かりやすく紹介し研究機関間や研究機関と事業者との連携を促す場として開催する「技術・交流展示会」です。

### 2012年度フェア出展者の満足度

フェアへの出展は有益なものでしたか？

非常に  
有益だった

77%

マッチング目的のための活動は実行できましたか？

実行できた

79%

### 同フェア終了後のマッチング状況

マッチング  
相談件数

4115件

(2011年度1448件)

1出展者当たり

21件以上



## 出展者の声

- 来場者が多かったです。
- 同分野・異業種の関係者と意見交換ができました。
- ホームページを見た人からの問い合わせがありました。
- 製品化の取組を前進させることができました。
- 複数の企業とのミーティングが決まりました。
- 新聞に掲載されました。
- 資料やパンフレットを多数配布できました。
- 多くの農業生産者にアピールできました。
- マッチング（連携研究）相手が見つかりました。
- 共同研究に繋がりそうです。
- 国内だけでなく海外の来場者にもアピールできました。
- 人的ネットワークの拡大に繋がりました。

● 後援(予定)：内閣府／文部科学省／経済産業省／特許庁

(独)農業・食品産業技術総合研究機構／(独)農業生物資源研究所／(独)農業環境技術研究所／(独)国際農林水産業研究センター  
(独)森林総合研究所／(独)水産総合研究センター／(独)家畜改良センター／(独)水産大学校／(独)科学技術振興機構  
(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構／(独)中小企業基盤整備機構／(独)種苗管理センター  
(公社)農林水産・食品産業技術振興協会／(社)日本経済団体連合会／(財)食品産業センター／日本弁理士会  
全国農学系学部長会議／日本農学会／特定非営利活動法人 産学連携学会／全国農業新聞／日本農業新聞／日本食糧新聞社  
日経バイオテック／フジサンケイビジネスアイ／日刊工業新聞社／日本政策金融公庫

● 入場料：無料

# アグリビジネス創出フェアは、 出展者の皆さまの連携促進を支援する 数多くの企画と広報戦略を実施します。

## ●前回の開催実績

全国より189機関が出展! (2011年度 179機関)

2012年度来場者数33,119人! (2011年度 26,384人)

## ●来場者のプロフィール



## 来場の目的

新技術・研究成果の情報収集	28.3%
興味のある出展者のブースを訪れる	17.9%
事業提携先・取引先、資金提供先をみつける	10.8%
共同研究・開発パートナーをみつける	10.8%
抱えている課題を解決できそうな技術シーズをみつける	8.4%
農林水産省の事業の情報収集	7.8%
講演・セミナー・プレゼンテーションへの参加	6.9%
手持ちの技術シーズの売り込み	2.5%
相談 (コーディネーターや人材支援コーナー)	1.2%
その他	5.5%

## ●来場者見込

35,000人 (目標)



**多様な目的を持った来場者に研究成果等をPRする絶好の機会!**

## ●昨年度の来場者

生産者 (農業・畜産・林・水産業)、民間事業者 (食品製造、生産資材、その他製造業、流通、商社・卸売・小売、金融機関)、研究者 (大学・高等専門学校、公的研究機関)、官公庁・自治体、その他農林水産業・食品分野の技術に投資する民間企業から多様な関係者が来場

## ●同時開催イベント

基調講演やシンポジウム、セミナー、表彰式、成果報告会、その他様々な会場内企画を連日開催し、多彩なテーマに専門家が登壇し農林水産・食品分野の最新動向を目的意識の高い来場者に紹介します。

### <前回実績>

1. 基調講演『産学官連携によるものづくり成功の秘訣』～仙台堀切川モデルから農林水産分野への提案～
2. 基調講演『復興と農林水産業～松下幸之助の教えに学ぶ～』
3. シンポジウム『農林水産分野での研究成果の産業化』～4人の若手が語る産業化のポイント～
4. 医農連携シンポジウム「医農連携 (機能性農林水産物) による健康増進と疾病管理」
5. セミナー「農林水産省行政情報セミナー」
6. セミナー「技術開発を有効に進めるコツ」～知財戦略・事業化戦略の事前検討について～
7. 表彰式「平成24年度 (第13回) 民間部門農林水産研究開発功績者表彰」
8. 表彰式「平成24年度 (第8回) 若手農林水産研究者表彰」
9. 成果発表会「イノベーション創出基礎的研究推進事業」
10. 成果発表会「新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業」
11. 研究・技術プレゼンテーション
12. マッチングサポートツアー
13. コーディネーターカウンター

## ●広報戦略

ホームページ、SNSでの情報提供。ポスターでの告知。過去の来場者データベースを活用してEメール、郵送DMで来場者を誘致。関係機関にフェア開催を周知。さらに同時開催のアグロ・イノベーション2013 (主催: 一般社団法人日本能率協会) との相互入場。

アグリビジネス創出フェア2013は、  
研究開発に関する産学官の連携促進を目的とした技術交流展示会です。  
産学官の連携促進を希望する多数の機関の御出展をお待ちしております。

### ●出展対象

1. 特に研究成果を実用化・産業化することを切望し、最新で質の高い技術シーズや研究成果を有する大学、地方公共団体、独立行政法人等の研究機関、技術研究組合及び研究会等の非営利団体。  
出展対象分野：農林水産・食品分野の研究分野（栽培技術分野、生産支援資材分野、食品加工分野、水産分野、林産分野、農業機械分野、生物工学分野、畜産分野など）
2. 農林水産・食品分野において、広く研究開発における産学官の連携促進や研究成果の普及・実用化・技術移転等を支援する機関や、このような活動を支援・推進する各種団体等。
3. 要件を満たす民間企業。（別紙出展規定をご覧ください）

### ●連携促進（マッチング）支援企画

1. コーディネーターによるマッチング支援 事前段階から会期中、事後まで、知見と経験を生かしたコーディネーションを行います。
2. 公式ホームページによるマッチング情報の発信 事前に民間企業とのマッチングの参考となる情報発信ができます。
3. マッチングサポートツアー コーディネーターがツアーコンダクターとなり、来場者とともに出展ブースを訪問。技術シーズの解説を行います。
4. 出展者プレゼンテーション（研究・技術プレゼンテーション） 出展者専用のプレゼンテーションスペースを会場内に設け、より多くの方々へ技術情報訴求できます。
5. さまざまなメディアへの露出

### ●展示方法

パネル展示、実物展示、実演、試飲・試食など

### ●出展料

無料（ただし、展示にかかる装飾費用、出展者名ボード、備品代、電気工事費、使用料、通信費、保険、運送費等は出展者の負担になります）

### ●常駐義務

原則として会期時間内の展示ブースへの担当者の常駐を必須とします。3日間の常駐が困難な場合は1 or 2-Day出展をご検討下さい。

### ●マッチングレポートの提出義務

フェアを通じて得られた成果と、その効果を取りまとめるため「マッチングレポート」を提出いただきます。

### ●出展規模

180団体、250小間（予定）

### ●出展募集期間

7月10日～8月9日（ただし、募集小間数に達した場合は、募集を締め切る場合がありますので、お早めにご検討ください）

**展示だけじゃもったいない！出展者の皆様にフェアをもっと活用していただくための企画を用意しています！アグリビジネス創出フェアでは、以下のような出展者主体の産学官連携企画を行う出展者を募集します。**

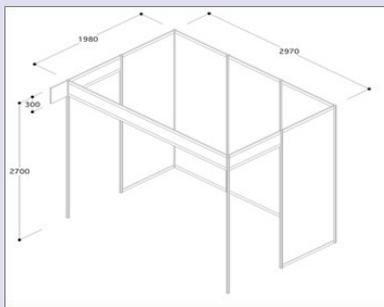
1. 研究・技術プレゼンテーション 研究成果の実用化に向けた技術的な取り組みをプレゼンテーションする機会を設けます。プレゼンテーションする内容はそれぞれの出展内容に準じた内容とし、申込時に具体的な内容を記入ください。（参加希望者数によっては、必ずしもご希望に添えない場合もございます。）
2. 連携企画 各出展機関がフェア会場内外で実施する連携促進企画  
例えば、10月△日に会場内で新製品の实演、10月×日にシンポジウムを行う、最終日にフェアで展示した自慢の新品種の農場ツアーを行う・・・など、企画は皆様のアイデア次第！（ただし、フェアの趣旨に沿う取組に限らせていただきます。）
3. Webによる情報発信 フェア公式ホームページやtwitterで、出展に向けた皆様の準備の様態を写真や動画でぜひ情報発信してください。

## ●展示エリア及び出展ゾーン

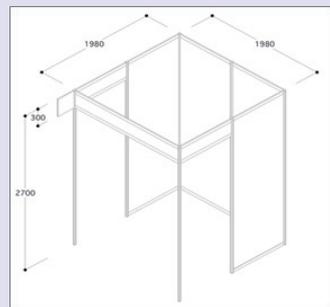
生産ゾーン	栽培、植物工場、水産、畜産、新品種育成、ゲノムに関する技術シーズの展示
食ゾーン	食の機能性、流通、食品加工、品質保持等に関する技術シーズの展示
環境ゾーン	環境計測、環境創造、土壌診断、リサイクル、バイオマス利活用、低投入型生産、環境負荷軽自然エネルギー、省エネルギー等に関する技術シーズの展示
地域ゾーン	地域資源の活用、6次産業化、農山漁村の課題解決、地域の科学技術振興等に関する技術シーズの展示
人ゾーン	研究開発支援や技術移転等による研究者の支援、産学連携支援、人材育成等に関する展示（主に、「出展対象」の2に相当する機関を想定しています）

## ●ブースの形態

1. 通常小間出展  
(間口 2.970mm × 奥行 1.980mm × 高さ 2.700mm)  
希望小間数をお申し込みください。  
ただし、申込み状況によっては小間数の調整をさせていただく場合がございます。



2. 1 or 2-Day 出展小間タイプ  
(間口 1.980mm × 奥行 1.980mm × 高さ 2.700mm)  
出展希望日をお申し込みください。  
申込み状況によっては出展日時のご希望に添えない場合もございます。  
この形態での出展は、1 出展者 1 小間とさせていただきます。



※床面は会場コンクリートとなります。 ※備品については、後日ご案内する出展マニュアルにてお申度ください。

### <共通小間仕様>

小間仕切りパネル（システムパネル白）、パラペット（システムパネル白）、ゾーン表示サイン（突き出しサイン）、蛍光灯40W×1灯、コンセント2ヶ口（300W）×1カ所  
出展料は、小間数に関わらず無料ですが、以下の経費はご負担ください。

<出展者にご負担いただく経費> ※詳細についてはお問い合わせください。

- 出展者自身の小間装飾、搬出入費等
- 臨時電話等通信回線の架設費および通信費
- 会場設備・備品および他ブース展示物の破損、紛失弁償費
- その他諸経費
- 出展品および対人傷害等の保険
- 基本設備以外の電気工事費および電気使用料
- 放置された装飾資材等の残材、ゴミの処分に係る経費
- 出展者名ボード

## ●スケジュール

▼ 出展募集期間	7月10日～8月9日(但し、募集小間数に達した場合は、募集を締め切る場合がありますので、お早めにご検討ください)
▼ 出展者選定・決定	8月下旬
▼ 出展者説明会	9月上旬(小間割およびプレゼンテーション日時決定)
▼ 会期	10月23日～25日
▼ 第1回マッチングレポート提出	11月上旬
▼ 第2回マッチングレポート提出	2月上旬

### マッチングレポートの提出

フェアを通じて得られた成果と、その効果を取りまとめるため「マッチングレポート」を提出いただいております。会期直後、2014年2月の2回を予定しておりますので、必ず提出ください。レポートを提出いただけない場合、次回以降の出展をお断りすることもあります。

## ●出展の承認

出展申込書の内容を審査し、出展の可否を決定します。（1or 2-Day出展の場合は、お申し込みいただいた順番も審査の際の参考にさせていただきます。）

通知は事務局より申込時に登録いただいたメールアドレスまで通知いたします。

●展示小間数・展示エリア・出展ゾーン及びブース配置の決定

出展申込書及の内容を審査し、事務局にて決定・配置いたします。通知は事務局より申込時に登録いただいたメールアドレスまで通知いたします。展示小間位置の発表は8月下旬に公式ホームページ（<http://agribiz-fair.jp/>）に掲載します。

## ●搬入・搬出（予定）

展示物等の会場への搬入・搬出期間

搬入・設営日：2013年10月22日(火) 12:00～17:00

搬出日：2013年10月25日(金) 17:00～20:00

※会期中は、主催者の許可無しに展示物を搬入・搬出・撤去・移動することはできません。

※1 or 2-Day出展の搬入（ブースの準備も含む）は、出展日の8:00～9:30の間に、搬出は出展終了日の17:00～18:00の間に行ってください。

※展示品や小間内の保守および清掃は、出展者の責任で行ってください。

## ●出展規定（抜粋）

### ■出展面積の転貸、譲渡、交換の禁止

出展者または出展申し込み者は出展面積の一部あるいは全部を転貸、譲渡、交換することはできません。また、主催者の承認無しに出展者以外の団体が使用・展示することはできません。

### ■出展物の知的財産保護

出展する研究成果・技術・製品について特許出願等の予定がある場合は、出展公表前に必ず特許出願等の手続きを行ってください。研究成果・技術・製品の出展やWebへの掲載によって生ずる知的財産の侵害、それに伴うあらゆる損失または損害について、主催者は責任を負いません。

### ■開催の変更及び中止

主催者は、天災その他の不可抗力により会期を変更、または開催を中止する場合があります。主催者は、これによって生じた損害を補償いたしません。

### ■催事の運営と免責

主催者は催事の業務を円滑に実行するため「アグリビジネス創出フェア2013出展規定」に記載のない事項について、新たに取り決め、各種の追加や変更を行うことがあります。出展者が「出展規定」に違反した場合は、主催者はその出展者の出展を断る場合もあります。主催者は準備から撤去まで全期間を通じ、警備会社と契約して会場管理にあたりますが、展示品の損害・紛失・盗難等に関する責任は負いません。

### ■補償および保険

出展者およびその代理人が他社の小間、主催者の運営設備、展示会場の設備および人身等に損害を与えた場合は、その補償は出展者の責任になります。出展者は、会場への展示物搬入開始から撤去終了までの期間、必要と思われるものについて損害・傷害保険に加入することをお勧めします。

### ■出展規定の承認

すべての出展者は「アグリビジネス創出フェア2013」出展規定を承認したものとします。

※その他詳細につきましては、別途「出展マニュアル」に定めます。

お問合わせ・出展申込み先

アグリビジネス創出フェア 展示会事務局

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-2-3 富士ビル6F(一般社団法人 太陽経済の会 事務局内) FAX:03-6212-8845 TEL:03-6212-1919 fair2013-jimu@mri.co.jp